

国際シンポジウム INTERPRAEVENT2018 ～変動帯における大規模な土砂災害と減災対策～



環太平洋インタープリイベント協議会
インタープリイベント 2018 実行委員会

期 日: 平成 30 年 10 月 1 日(月)～4 日(木)
開催地: 富山県富山市(会場:富山国際会議場 〒930-0084 富山市大手町 1 番 2 号)
主 催: インタープリイベント 2018 実行委員会、環太平洋インタープリイベント協議会
共 催: International Research Society INTERPRAEVENT、(公社)砂防学会、(一社)国際砂防協会
後 援: 国土交通省、富山県、富山市
協 賛: (一社)全国治水砂防協会、(一財)砂防・地すべり技術センター、(一財)砂防フロンティア整備推進機構、(一社)斜面防災対策技術協会

目 的: 環太平洋地域では火山活動、地震に起因する変動帯特有の災害が多発している。これに加えて近年では、気候変動の影響による集中豪雨や大型台風によって大規模な土砂災害が頻発している。変動帯に暮らす人びとは、これらの土砂災害を緩和しつつ共存していかねばならず、このような地域で長年に亘り培われてきた災害軽減技術はまさに世界に残すべき人類遺産ともいえる。



立山カルデラの全景

特に、富山県は、災害軽減技術の結晶とも言える歴史的な施設が多数存在している地域であり、その歴史的成果を世界の技術者、研究者、行政関係者、教育関係者が土砂災害への関心を持つ一般市民とともに討議するとともに、技術の検証、開発、継承、国民への啓発、普及、災害リスク管理等の意義を積極的に世界に発信していくことが極めて重要である。富山県では、1858 年の大地震により数億 m³の山体崩壊が河道を閉塞して天然ダムを形成し、その欠壊により流出した土砂が下流の富山平野に甚大な被害をもたらした。それ以降 110 年にわたりこれらの土砂を安定させる砂防工事が進められ、現在では安全で実り豊かな田園都市となっている。この富山平野において、2018 年 10 月に「インタープリイベント 2018」を開催するものである。

テーマ: 変動帯における大規模な土砂災害と減災対策

参加費:

登録日	一般	学生	同行者
平成 30 年 8 月 8 日～9 月 15 日	30,000 円	12,000 円	12,000 円
平成 30 年 9 月 16 日以降	35,000 円	14,000 円	14,000 円

➤ 昼食代(申込期限は9月15日) 1,000円/日

※ 参加費には宿泊費、昼食代、意見交換会費及び現地視察研修会費は含まれていません

※ 当日、受付を済ませますと、シンポジウムアブストラクト集(印刷物)、論文集(CD-ROM)およびプログラム等を受け取ることができます。

参加および宿泊等申し込み:

専用サイト(<https://va.apollon.nta.co.jp/interprevent2018-eh/>)からの宿泊申し込みは締め切りました。

なお、参加申し込みは、参加登録用ウェブサイト(<https://va.apollon.nta.co.jp/interprevent2018/>)から引き続きお申し込みいただけます。上記ウェブサイトからの参加登録は9月15日まで可能です。9月16日以降はインタープリメント会場で当日登録となります。

シンポジウムスケジュール:

月日 / 時間	10月1日【1日目】	10月2日【2日目】	10月3日【3日目】	10月4日【4日目】
9:00		口頭セッション I-1, II-1 8:30~9:40		口頭セッション I-5, II-5 8:30~9:40
10:00	受付 10:00~13:00	ポスター1分間スピーチ 9:40~10:00		ポスター1分間スピーチ 9:40~10:00
11:00		コーヒーブレイク 10:00~10:30		コーヒーブレイク 10:00~10:30
12:00		ポスターコアタイム 10:30~11:30		ポスターコアタイム 10:30~11:30
13:00		口頭セッション I-2, II-2 11:30~12:40		口頭セッション I-6, II-6 11:30~12:40
14:00	郷土芸能上演 13:00~13:30 開会式 13:30~14:45	昼食 12:40~14:00		昼食 12:40~14:00
15:00	基調講演 14:45~15:45	口頭セッション I-3, II-3 14:00~15:10		パネルディスカッション 14:00~16:00
16:00	コーヒーブレイク 15:45~16:15	ポスター1分間スピーチ 15:10~15:30		
17:00	基調講演 16:15~17:15	コーヒーブレイク 15:30~16:00		コーヒーブレイク 16:00~16:20
18:00		ポスターコアタイム 16:00~17:00		閉会式16:20~17:00
19:00	意見交換会 18:00~19:30	口頭セッション I-4, II-4 17:00~17:55		
20:00				

言語: 使用する言語は英語です(初日と最終日の午後は日本語への同時通訳を予定しています)。

開会式： シンポジウム初日(10月1日)13時30分から富山国際会議場3Fメインホールで行います。
開会式に先立ち、富山の郷土芸能「こきりこ等」が披露される予定です。

主催者挨拶

石川 芳治(インタープリメント2018実行委員長)

来賓挨拶

クルト ローナー(インタープリメント会長)

栗原 淳一(国土交通省砂防部長)

海堀 正博((公社)砂防学会会長)

フーベルト ハイッス(オーストリア大使)

開催県挨拶

石井 隆一(富山県知事)



こきりこ

基調講演： 以下の基調講演者に、それぞれの国・地域における災害の特徴及び災害対策、防災研究の方向性、歴史的砂防施設の検証などについてご講演いただきます。

国	氏名(敬称略)	所属・役職
オーストリア	アンドレアス・ピヒラー	持続可能・観光省 次長
フィリピン	ドロレス・エム・ヒポリト	公共事業・道路省 治水管理課長
台湾	李 鎮洋	行政院農業委員会 水土保持局長
日本	栗原 淳一	国土交通省 砂防部長

以上の講演は初日の開会式の後に、以下の講演は2日目以降の口頭セッションで行われる予定です。

オーストリア	ヨハネス・フーブル	ウィーン農科大学 教授
フランス	シモン・カルラドウ	森林管理庁 自然災害対策調整官
ニュージーランド	ブレンダ・ロッサー	GNSサイエンス 研究員
日本	権田 豊	新潟大学農学部 准教授
日本	北原 成郎	(株)熊谷組 ICT 推進室長
日本	内田 太郎	国土技術政策総合研究所土砂災害研究部 砂防研究室長
日本	山上 直人	国土交通省 熊本復興事務所 工務課長

意見交換会： シンポジウム初日(10月1日)18時00分から富山国際会議場3F ホワイエで行います。
富山の伝統芸能「おわら」が披露される予定です。



おわら

研究発表: このシンポジウムのテーマである「変動帯における大規模な土砂災害と減災対策」は、以下の 6 つのトピックに大別され、これらに関する発表を口頭セッションとポスターセッションに分けて行います。

- トピック 1 : 土石流・斜面崩壊・地すべり・落石のモニタリングとモデリング
- トピック 2 : 大規模土砂災害:現象と対策
- トピック 3 : ハード対策:新たな技術と戦略
- トピック 4 : 持続的な発展のための水系一貫の土砂流出対策
- トピック 5 : ソフト対策:警戒避難とハザードマッピング
- トピック 6 : 持続可能な土地利用のための管理

(口頭セッション): 発表内容によって各トピックスに区分され、口頭発表(15分(12分発表・3分質疑応答))が英語で行われます。2題～4題毎に総合討論のための時間が10分設けられています。

(ポスターセッション): 研究発表ポスターは、10月2日と4日に展示されます。ポスターは3つの半日のセッションに分けられ、セッション毎にそれぞれ1時間のコアタイムが設定されています。希望者には、別途1分間のポスター紹介の機会が与えられます。また、優秀なポスター発表には、ポスター賞が授与されます。

なお、ポスター紹介を行わないポスター発表はポスター賞の選考の対象となりません。ポスター発表者は、シンポジウム会場にポスターを自らご持参いただき、所定のパネルに貼り出していただきます。ポスターのサイズはA0タテまたはA0ノビとし、別途ポスター発表者に通知する所定のフォーマットで作成してください。

行政展示: 防災関係機関による行政展示コーナーが会場内に設けられます。

企業展示: 国内外の防災関係企業による企業展示コーナーが会場内に設けられます。

現地視察研修会:

現地研修には、砂防工事を進めている立山カルデラや総合土砂管理に取り組んでいる黒部川流域、火山対策などを進めている神通川流域などを訪れる4コースと、富山県内の世界遺産等を巡る1コースを予定しています。

※各コースとも参加申し込みの受付は終了しております。

※各コースとも天候や現地状況等により、中止又は視察箇所を変更する場合があります。

	コース名
コース 1	地震と土砂災害及び歴史的砂防コース
コース 2	急流河川対策コース
コース 3	総合土砂管理コース
コース 4	火山災害と火山地域の砂防コース
コース 5	富山の文化・観光コース

パネルディスカッション: 極端な気象現象ならびに変動帯特有の火山・地震によって引き起こされた流域スケールの大規模な土砂災害と闘ってきた人間の技術、持続的な発展のための水系一貫の土砂流出対策に焦点を当て、災害の特徴やその対策について、参加各国の研究者等による総合的な議論を行います。

	国	氏名（敬称略）	所属、役職
コーディネーター	日本	山田 孝	北海道大学大学院農学研究院 教授
パネリスト	イタリア	アレサンドロ・パスト	国家研究評議会 水文地質災害対策研究所 パドバ支所長
	スイス	アンドレアス・ゲッツ	環境庁元次長
	台湾	謝 正倫	國立成功大學防災研究センター所長
	日本	大坂 剛	国土交通省 立山砂防事務所長

閉会式: シンポジウム最終日（10月4日）16時20分から富山国際会議場3Fメインホールで行います。ポスター賞の表彰、提言案の提示、次期開催地の紹介、そして、閉会の言葉があります。

ポスター賞表彰式

石川 芳治（インタープリメント2018実行委員長）

インタープリメント2018の要約と提言案の提示

石川 芳治（インタープリメント2018実行委員長）

次期開催地の紹介

アルト・フェルハーヘ（ノルウェー水資源エネルギー庁）

閉会の言葉

岡本 正男（環太平洋インタープリメント協議会会長）

その他:

本シンポジウムはCPD単位の取得対象を予定しています。

会場へのアクセス:

- 東京国際空港(羽田)⇔富山きときと空港
 - ・直行便・・・約1時間

□ 富山きときと空港⇔富山国際会議場

- ・タクシー・・・約20分
- ・バス(空港連絡バス)・・・約25分「総曲輪(そうがわ)」下車 徒歩2分

■ JR 東京駅⇔JR 富山駅

- ・北陸新幹線・・・約2時間10分

□ JR 富山駅⇔富山国際会議場

- ・市内電車(セントラム)
 - ・・・約7分「国際会議場前」下車
- ・バス・・・約5分「城址公園前」下車 徒歩3分
- ・徒歩・・・城址大通りを南へ約15分



実行委員会(敬称略)

委員長	石川 芳治	東京農工大学名誉教授、インタープリバント副会長
副委員長	海堀 正博	広島大学教授、公益社団法人砂防学会会長
委員	今井 一之	国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課長
同	岡本 正男	一般社団法人全国治水砂防協会理事長、一般社団法人国際砂防協会理事長、環太平洋インタープリバント協議会会長
同	亀江 幸二	一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構理事長
同	近藤 浩一	一般社団法人斜面防災対策技術協会副会長、一般財団法人砂防・地すべり技術センター相談役
同	西井 洋史	国立研究開発法人土木研究所土砂管理研究グループ長
同	平松 晋也	信州大学教授、公益社団法人砂防学会専務理事
同	松原 誠	国土交通省北陸地方整備局河川部長
同	水口 功	富山県土木部長
同	南 哲行	一般財団法人砂防・地すべり技術センター理事長
同	山口 真司	国土交通省国土技術政策総合研究所土砂災害研究部長
同	山田 孝	北海道大学教授、公益社団法人砂防学会理事・編集部会長
監事	大野 宏之	一般財団法人砂防・地すべり技術センター専務理事、インタープリバント理事、公益社団法人砂防学会理事・国際部会長
同	小川紀一郎	公益社団法人砂防学会副会長

名誉顧問： 石井 隆一 富山県知事
顧問： 丸井 英明 新潟大学災害復興研究所名誉教授、インタープリバント名誉会員・前副会長

編集小委員長： 山田 孝(北海道大)

編集委員：	Catrin Promper(オーストリア)	Florian Rudolf-Miklau(オーストリア)
	Matjaz Mikos(スロヴェニア)	Niki Beyer Portner(スイス)
	今泉 文寿(静岡大)	内田 太郎(国総研)
	笠井 美青(北海道大)	倉本 和正(中電技術)
	五味 高志(東京農工大)	権田 豊(新潟大)
	嶋 文示(STC)	執印 康裕(宇都宮大)
	白木 克繁(東京農工大)	大丸 裕武(森林総研)
	高原 晃宙(国交省)	竹林 洋史(京成大)
	堤 大三(三重大)	中谷 加奈(京成大)
	水野 秀明(九州大)	宮田 秀介(京成大)
	山越 隆雄(STC)	

運営小委員長： 水口 功(富山県土木部長)

運営委員：	秋山 一弥(土木研究所雪崩・地すべり研究センター-上席研究員)	石崎 信夫(富山県砂防ボランティア協会会長)
	大坂 剛(国交省北陸地整立山砂防事務所長)	川田 孝信(立山・神通砂防スペシャルエンジニア代表)
	榮 知之(富山県測量設計業協会会長)	笹岡 覚(富山市建設部参事・建設政策課長)
	志野 直紀(国交省北陸地整立河川計画課長)	城ヶ崎 正人(国交省砂防部地震・火山砂防室長)
	田中 幹夫(富山県治水砂防協会会長)	田中 洋一郎(斜面防災対策技術協会富山支部長)
	津嶋 春秋(富山県地質調査業協会会長)	寺本 邦一(建設コンサルタンツ協会北陸支部長)
	平松 晋也(砂防学会信越支部長)	舟橋 貴之(全国治水砂防協会立山支部長)
	古本 一司(国交省北陸地整黒部河川事務所長)	森田 耕司(富山県土木部砂防課長)

お問合せ先：

インタープリバント2018実行委員会事務局
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4
(一社)国際砂防協会内
電話：03-6380-9044 FAX: 03-3261-5449
E-mail: info@interpraevent2018.jp
URL: http://interpraevent2018.jp



会場、現地視察研修についてのお問合せは…

運営小委員会事務局
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7
富山県庁本館4階 土木部砂防課内
電話：076-444-3341 FAX:076-444-4420

※平成 30 年 8 月 31 日時点で作成しています
※記載内容は予告なく変更する場合があります

学術発表スケジュール

基調講演 第一会場 10月1日 14:45~15:45、16:15~17:15		
番号	時間	発表タイトル/著者名
KN-1	14:45~15:15	Sediment Disasters and Progress of Sabo Projects in Japan <i>Jun-ichi KURIHARA</i>
KN-2	15:15~15:45	Advancement of Torrent and Avalanche Control in Austria - A Story of Success? <i>Andreas PICHLER</i>
KN-3	16:15~16:45	Disaster Relief Operation and Rehabilitation after Mt. Pinatubo Eruption <i>Dolores M. HIPOLITO</i>
KN-4	16:45~17:15	Establishment of Disaster Resistant Community against Debris Flows in Taiwan <i>Chen-Yang LEE</i>

口頭セッション I-1 第一会場 10月2日 8:30~9:40		
大規模土砂災害:現象と対策1		
座長:Takahisa FURUICHI (Japan)		
番号	時間	発表タイトル/著者名
KN-5	8:30~9:00	Landslide dams caused by the November 14, 2016, M7.8 Kaikoura Earthquake, New Zealand <i>Brenda ROSSER, Chris MASSEY, Sally DELLOW and Simon COX</i>
V1-1	9:00~9:15	Characteristics of a landslide occurred in May 2015 in Mt. Hakusan and its influence on downstream system <i>Seiji YANA</i>
V1-2	9:15~9:30	Small Flume Experiment on Deep-seated Landslide Collapsed Material Movement <i>Hefryan S. KHARISMALATRI, Yoshiharu ISHIKAWA, Takashi GOMI and Katsushige SHIRAKI</i>
	9:30~9:40	総合討論

口頭セッション I-2 第一会場 10月2日 11:30~12:40		
大規模土砂災害:現象と対策2		
座長:Brenda ROSSER (New Zealand)		
番号	時間	発表タイトル/著者名
KN-6	11:30~12:00	Slope Failure and Subsequent Debris Flow Occurrence on May 2017 at Liyama, Nagano, Japan <i>Yutaka GONDA</i>
V1-3	12:00~12:15	A Method for Predicting and Taking Measures Against Soil Slips Generating Debris Flows in a Case Study of the 2014 Hiroshima Sediment Disasters <i>Yoshiharu ISHIKAWA, Hiroyuki UMEZAWA, Risa TANABE, Aya TAMEIKE and Quoc Dung DANG</i>
V1-4	12:15~12:30	Safety Verification of Sabo Dams against Large Scale Debris Flow <i>Nobutaka ISHIKAWA, Joji SHIMA, Ryo MATSUZAWA and Takahisa MIZUYAMA</i>
	12:30~12:40	総合討論

口頭セッション I-3 第一会場 10月2日 14:00~15:10		
ハード対策:新たな技術と戦略2		
座長:Takao YAMAKOSHI (Japan)		
番号	時間	発表タイトル/著者名
KN-7	14:00~14:30	The 2016 Kumamoto Earthquake and the Restoration Work Using the Advanced Unmanned Construction Technology <i>Naoto YAMAGAMI and Shigero KITAHARA</i>
V1-5	14:30~14:45	Flexible Ring net Barriers for Debris Flow Protection - Learning from More Than 10 years of Experience - <i>Corinna WENDELER, Matthias DENK and Nobuhito NISHIMURA</i>
V1-6	14:45~15:00	Assessing Torrential Endangered Areas in Bavaria – Consideration of Log Jams at Culverts and Bridges <i>Peter DRESSEL, Peter WAGNER and Andreas RIMBOECK</i>
	15:00~15:10	総合討論

口頭セッション I -4 第一会場 10月2日 17:00~17:55		
土石流・斜面崩壊・地すべり・落石のモニタリングとモデリング3		
座長: Masato KOBIYAMA (Brazil)		
番号	時間	発表タイトル/著者名
KN-8	17:00~17:30	Evaluation of Different Methods for Debris Flow Velocity Measurements at the Lattenbach Creek <i>Johannes HÜBL, Andreas SCHIMMEL and Richard KOSCHUCH</i>
V1-7	17:30~17:45	Recognition of the Susceptibility of Landslides and Hydrogeomorphic Processes in Western Taiwan Through Morphometric Indicators and Field Reconnaissance <i>Hsienter CHOU, Ciyin HUANG, Tingchi TSAO, Chingfang LEE, Chihhsuan HUANG and Weikai HUANG</i>
	17:45~17:55	総合討論

口頭セッション I -5 第一会場 10月4日 8:30~9:40		
持続的な発展のための水系一貫の土砂流出対策1		
座長: Johannes HÜBL (Austria)		
番号	時間	発表タイトル/著者名
KN-9	8:30~9:00	Overview of Natural Risk Management and Torrent Control Maintenance in the French Mountainous Areas <i>Simon CARLDOUS and Olivier MARCO</i>
V1-8	9:00~9:15	Maintenance and Utilization of a Sabo Facility Designated an Important Cultural Property - The Shiraiwa Sabo Dam <i>Takeshi OSAKA, Hisashi WATANABE</i>
V1-9	9:15~9:30	Engineering Assessment of Aging Degradation for Small Sediment Control Structures <i>Sangjun IM, Won CHOI and Song EU</i>
	9:30~9:40	総合討論

口頭セッション I -6 第一会場 10月4日 11:30~12:40		
トピック4: 持続的な発展のための水系一貫の土砂流出対策2		
座長: Alexandre BADOUX (Switzerland)		
番号	時間	発表タイトル/著者名
KN-10	11:30~12:00	Prolonged Effects on Catastrophic Sediment Yield on Catchment-scale Sediment Dynamics <i>Taro UCHIDA</i>
V1-10	12:00~12:15	Characteristics of Bedload Transport in Republic of Korea - Using the Hydrophone Monitoring System - <i>Junpyo SEO, Kihwan LEE, Changwoo LEE, Dongyeob KIM, Choongshik WOO, Heonho LEE and Taro UCHIDA</i>
V1-11	12:15~12:30	Maintenance of Historical Sabo Facilities by the Tateyama Sabo Office - Evaluation of the Soundness and Utility of Sabo Facilities - <i>Hisashi WATANABE</i>
	12:30~12:40	総合討論

口頭セッション II -1 第二会場 10月2日 8:30~9:25		
土石流・斜面崩壊・地すべり・落石のモニタリングとモデリング1		
座長: Daizo TSUTSUMI (Japan)		
番号	時間	発表タイトル/著者名
V2-1	8:30~8:45	Assessment of Landslide Recurrence by Onsite Monitoring System - Incidence of Hung -Yeh Landslide - <i>Chia-Chun WU, Pei-Hsi WANG, Chih-Hui WANG, Ching-Yen CHANG and Te-Ling WU</i>
V2-2	8:45~9:00	Landslide Monitoring and Potential Assessment from Differential Interferometric Radar Analysis and Ground Instrumentations <i>Kuo-Lung WANG, Jun-Ting LIN, Yi-Hsuan LEE, Li-Wen CHEN, Jheng-Ru LAI, Tsung-Wen CHEN, Yo-Ming HSIEH, Meei-Ling LIN, Ray-Tang LIAO, Chao-Wei CHEN and Ching-Weei LIN</i>
V2-3	9:00~9:15	Estimating Landslide Volumes Using the LS-Rapid Model - The 2000 Stože Landslide Case in NW Slovenia <i>Jošt SODNIK, Matej MAČEK and Matjaž MIKOŠ</i>
	9:15~9:25	総合討論

口頭セッションⅡ-2 第二会場 10月2日 11:30~12:40		
ハード対策:新たな技術と戦略1		
座長:Chen-Yu CHEN (Taiwan)		
番号	時間	発表タイトル/著者名
V2-4	11:30~11:45	Literature-based Expedient Criterion for Assessing the Impact Strength of Switzerland's Rockfall Protection Embankment Park <i>Stéphane LAMBERT, Bernd KISTER and Bernard LOUP</i>
V2-5	11:45~12:00	Experimental Study on Sediment Deposition Using Bandal Like Structure with Different Ratio of Pemeable and Impermeable Part <i>Yuji HASEGAWA, Shuichi TAI, SHAMPA, Kenji KAWAIKE and Hajime NAKAGAWA</i>
V2-6	12:00~12:15	New Strategy for Landslide Mitigation Considering Cost Sustainability <i>Giulia BOSSI and Gianluca MARCATO</i>
V2-7	12:15~12:30	Load Evaluation of Debris Flow agaisnt Steel Open Sabo Dam using DEM <i>Toshiyuki HORIGUCHI, Yoshiharu KOMATSU, Satoshi KATSUKI and Nobutaka ISHIKAWA</i>
	12:30~12:40	総合討論

口頭セッションⅡ-3 第二会場 10月2日 14:00~14:55		
土石流・斜面崩壊・地すべり・落石のモニタリングとモデリング2		
座長:Matjaž MIKOŠ (Slovenia)		
番号	時間	発表タイトル/著者名
V2-8	14:00~14:15	Rainfall Characteristics and the Related Geological Disasters of Slag Disposal Pit in Shanghang Region, China <i>Hua-li PAN, Ming-jian HU and Guo-qiang OU</i>
V2-9	14:15~14:30	Effect of Bent Flexible Vegetation on Fluvial-bed Change under Flood Conditions <i>Jin-Fu LI and Su-Chin CHEN</i>
V2-10	14:30~14:45	Considering the Quantitative Effect of Antecedent Rainfall on Slope Stability to Predicting Rainfall-induced Shallow Landslides at the Basin Scale <i>Yu LUO and Si-ming HE</i>
	14:45~14:55	総合討論

口頭セッションⅡ-4 第二会場 10月2日 17:00~17:55		
ハード対策:新たな技術と戦略3		
座長:Simon CARLADOUS (France)		
番号	時間	発表タイトル/著者名
V2-11	17:00~17:15	Debris Capture Example by Flexible Barrier and its Performance Verification <i>Hiroyuki UMEZAWA, Risa TANABE and Peihong ZHU</i>
V2-12	17:15~17:30	Effect of Emergency Measures to Minimize Debris Flow Disaster after the Pyroclastic Material Deposition in Gendol River due to the 2010 Eruption of Mt. Merapi, Indonesia <i>Naryo WIDODO, ST., MT, Suyanto, ST., M.TECH, Ir. Tri Bayu Adji, MA and Masaharu MIZOGUCHI</i>
V2-13	17:30~17:45	Improving the Integration of Protection Barriers in Rockfall Trajectory Analysis Model <i>David TOE, Alessio MENTANI, Stéphane LAMBERT, Laura GOVONI, Guido GOTTARDI and Franck BOURRIER</i>
	17:45~17:55	総合討論

口頭セッションⅡ-5 第二会場 10月4日 8:30~9:40		
ソフト対策:警戒避難とハザードマッピング1		
座長:Gianluca MARCATO (Italy)		
番号	時間	発表タイトル/著者名
V2-14	8:30~8:45	A Pilot Construction of a Real-Time Monitoring System for Slow-Moving Landslide, Republic of Korea <i>Dongyeob KIM, Changwoo LEE, Choongshik WOO, Junpyo SEO, Minjeng KANG, Kidae KIM, Man-Il KIM and Jaehyun PARK</i>
V2-15	8:45~9:00	Advanced Hazard Information and Methods for Appropriate Evacuation during Sediment Disasters <i>Kana NAKATANI, Kazuki YAMANOI, Yuji HASEGAWA, Seiya HAYASHI, Shusuke MIYATA and Masaharu FUJITA</i>
V2-16	9:00~9:15	Towards an Auto-nowcasting System for Landslide Hazards <i>Cheng-Chien LIU, Hsiao-Yuan YIN, Hsiao-Wei CHUNG, Wei LUO and Ke-Wei YAN</i>
V2-17	9:15~9:30	The Mentally Considerate Approach for Educational Methods Immediately after the Sediment-Related Disasters on a Basis of Local Historical Experience - The case study of environmental educational programs in Kumamoto Earthquake 2016 - <i>Reiko MACHIDA, Mito ICHIKAWA, Miu KITAZATO, Junya MACHIDA, Hijiri SHIMOJIMA, Teruaki IRIE, Tadakazu KANEKO and Naomasa HONDA</i>
	9:30~9:40	総合討論

口頭セッションⅡ-6 第二会場 10月4日 11:30~12:40		
ソフト対策:警戒避難とハザードマッピング2		
座長: Atsuhiko KINOSHITA (Japan)		
番号	時間	発表タイトル/著者名
V2-18	11:30~11:45	Comparison of Debris Flow Hazard Mapping between Empirical Function and Numerical Simulation - A Case Study in Taiwan <i>Ting-Chi TSAO, Chuan-Yi HUANG, Jung-Hsing CHIEN, Hsiao-Yuan YIN and Chen-Yu CHEN</i>
V2-19	11:45~12:00	Debris Flow Detection using LVP Sensors in Japan <i>Hitoshi KATO, Nobuyuki NODA, Kazuhiko HASHI, Satoshi TAGATA, Takahiro ITOH and Takahisa MIZUYAMA</i>
V2-20	12:00~12:15	Monitoring System of a Large Rockslide in Heisei-Shinzan Lava Dome, Mt. Unzen, Japan <i>Yasuyuki HIRAKAWA, Nobuhiro USUKI, Kouji FUJITA, Toshiaki TANAKA, Masafumi KANEKO, Toshiyasu UENO, Hidenori EGUCHI and Kazuhiro SHIMOKUBO</i>
V2-21	12:15~12:30	Subsurface Investigation and Landslide Monitoring as a Basis for Planning Protection Measures - Case Study Doren Landslide - <i>Thomas FRANDL and Margarete WÖHRER-ALGE</i>
	12:30~12:40	総合討論

ポスターセッションⅠ 3Fホワイエポスター発表会場 10月2日 8:30~12:40			
1分間スピーチ 10月2日 9:40~10:00 コアタイム 10月2日 10:30~11:30			
座長: Niki Beyer PORTNER (Switzerland)			
番号	発表タイトル/著者名	番号	発表タイトル/著者名
PI-1	A Study on Setting Half-life of Effective Rainfall as a Standard Debris Flow Occurrence by Considering Geology <i>Naomasa HONDA</i>	PI-10	Channel Response to an Extreme Flood Event in the Tokachi River Basin <i>Mari IGURA, Mio KASAI, Daisuke AOKI and Nobutomo Osanai</i>
PI-2	Transition of Water and Sediment Discharge from the Rokko Mountains, Japan <i>Tadanori ISHIZUKA, Koji HATTORI, Masayuki KISHIMOTO, Taro UCHIDA, Yasukazu KOSUGE, Yoko NAGATA, Ken'ichirou KOSUGI and Takahisa MIZUYAMA</i>	PI-11	Study on Progressive Failure of Landslide Dam <i>Shoki TAKAYAMA, Kito KAZUKI and Yoshifumi SATOFUKA</i>
PI-3	Empirical Predictions of Large Wood Transport in Mountain Catchments <i>Nicolas STEEB, Alexandre BADOUX, Dieter RICKENMANN and Christian RICKLI</i>	PI-12	Characteristics of Debris Flows that Occurred in the Osawa-gawa River of Mount Fuji <i>Hiroyuki SUGIMOTO, Yutaka SUZUKI, Hiroshige MATSUMOTO, Shinya YOSHIDA, Toshihiro KIKUI and Taro UCHIDA</i>
PI-4	Deposition Shape of Landslide Dam <i>Kiyotaka SUZUKI, Taro UCHIDA and Wataru SAKURAI</i>	PI-13	Property of Sediment Movement in Azusa River (Kamikochi) <i>Akihiko IKEDA, Yuki IGARASHI, Osamu FUSHIKI, Hiroki UEMORI, Shoji IGARASHI, Masahide HASEGAWA and Hidenori SAKO</i>
PI-5	The Development Conditions of Debris Flows at Mt. Unzen Fugen-Dake <i>Yoshinori SHINOHARA, Haruka TSUNETAKA, Gaku KITAMOTO, Noritumi HOTTA, Hisanobu MITSUTAKE and Toshiyasu UENO</i>	PI-14	Evaluation of Hydraulic Characteristics From Observation of Surface Profiles of Debris Flows <i>Yuya TAKAHASHI, Naoki FUJIMURA and Hideaki MIZUNO</i>
PI-6	Study on Method to Extract Hazardous Slopes for Deep-Seated Landslides, Focusing on "Temporal" Changes of EC <i>Tsuneshi NISHIOKA, Kazuo TSUTSUI, Kazuhisa FUKUDA, Takehiro SAKAGUCHI, Yasutaka TANAKA, Atsuhiko KINOSHITA, Kayoko MORI and Teruyoshi TAKAHARA</i>	PI-15	Analysis and Reconstructed Modeling of the Debris flow Events on the 29th of August and the 4th of September 2016 of Aritz (Carinthia, Austria) <i>Claudia SAUERMOSE, Markus MOSER and Susanne MEHLHORN</i>
PI-7	Integrated Numerical Simulation Model for Describing Debris flow, Sediment Sheet Flow, Bedload and Suspended Load in Mountain River <i>Taro UCHIDA, Wataru SAKURAI, Yuki NISHIGUCHI, Junya HINA, Masato MURAKAMI and Yoshifumi SATOFUKA</i>	PI-16	Simulation of Rockfall Trajectories and Validation of Countermeasure Design Using Distinct Element Method <i>Chunxiang WANG, Katsumi ITOH and Satoru OHTSUKA</i>
PI-8	Study on Root System Distribution in a Japanese Cedar Plantation on Granite-Porphry Gravel Soil <i>Kazuhiro FUKUDA, Tatsuma NAGAI, Takehiro SAKAGUCHI, Tsuneshi NISHIOKA, Kazuo TSUTSUI, Ryoichi OHNO, Yasutaka TANAKA and Atsuhiko KINOSHITA</i>	PI-17	Estimation of Distribution of Tephra fall Deposit Using the Interpolation Method Based on Multi-observation Data <i>Jie DOU, Naoki FUJIMURA and Hideaki MIZUNO</i>
PI-9	Effective Rainfall Amount to Induce Debris Flow <i>Tsukasa KUDO, Taro UCHIDA, Naoki MATSUMOTO and Wataru SAKURAI</i>	PI-18	Critical Rainfall Analysis of Large-scale Landslide Occurrence <i>Tsai-Tsung TSAI, Yuan-Jung TSAI and Chjeng-Lun SHIEH</i>

PI-19	Extreme rainfall Induce Hydrological Enviroment Variation Assessment by using IHA(Indicator of Hydrologic Alteration)in Taiwan <i>Kuang-Jung TSAI, Jie-Lun CHIANG and Yie-Ruey CHEN</i>	PI-30	Comprehensive Sediment-related Disaster Prevention Countermeasures in Kagoshima Prefecture <i>Takashi TAMURA, Masayuki FUJITA, Kiyoto IKEMIZU and Shusaku KAKOI</i>
PI-20	Mass Movement Displacement Monitoring for SABO Works Maintenance <i>Giulia BOSSI, Matteo MANTOVANI and Gianluca MARCATO</i>	PI-31	Understanding of Important Factors Pertaining to Occurrence of Shallow Landslide in Nachi River Basin on September 4, 2011 Using the Data Mining Method <i>Takehiro SAKAGUCHI, Tsuneshi NISHIOKA, Kazuo TSUTSUI, Kazuhisa FUKUDA, Atsuhiko KINOSHITA, Yasutaka TANAKA, Noriko TADAKUMA and Soichi KAIHARA</i>
PI-21	Emergency Responses to Debris Flow Disaster at Serizawa, Nikko-city Triggered by the 2015 Torrential Rains in the Kanto and Tohoku Region <i>Kenji MIWA and Kenji TAKETOSHI</i>	PI-32	Relationship Between the Process of Large-scale Sediment Movement and Ground Vibration <i>Hiroshi ASAHARA, Atsuhiko KINOSHITA, Yasutaka TANAKA, Hiroaki SUGAWARA, Gengo YOSHIMURA, Wataru SAKURAI, Teruyoshi TAKAHARA and Soichi KAIHARA</i>
PI-22	The Evolution Characteristics of Debris flow Disaster after Wenchuan Earthquake <i>Guoqiang OU, Yoshiharu ISHIKAWA, Huali PAN, Jun WANG, Shun YANG, Satoshi TSUCHIYA, Yutaka GONDA and Takashi JITOUSONO</i>	PI-33	Evaluating Sediment-Related Disaster Risk on Probability Using Weather Condition Factors <i>Yusuke HIDA, Tomoyuki TSUNODA, Hiroaki YOSHIDA, Yuzuru YAMAKAGE, Toshihiro SONODA, Tomoyuki NORO and Joko KAMIYAMA</i>
PI-23	Influence of Sediment Particle Size Constituting Riverbed on Sediment Transport after Huge Sediment Supply <i>Hiroaki IZUMIYAMA, Wataru SAKURAI, Taro UCHIDA, Katsuya HORIE, Kenta YAMASHIRO, Seiji OKAMURA, Naoko OSAKI and Ryo KAMETA</i>	PI-34	A Study on Criteria of Warning and Evacuation for Large-scale Sediment Disasters Considering the Relationships with Sediment Movement and Damage <i>Yuna SUZUKI, Shin-ichiro HAYASHI, Shinya KATSURA, Mio KASAI, Nobutomo OSANAI and Tomomi MARUTANI</i>
PI-24	Sabo Dam Deterioration Factors Analysis and Risk Assessment <i>Jun TAKIGUCHI, Hiroaki TSUNAKAWA, Toshiharu ARISAWA, Kazuhiko HOSHINO, Akira NAKAI, Tetsuya INUI and Seiji TAGUCHI</i>	PI-35	International Research Trend on Sediment-related Disasters Induced by Earthquakes <i>Sang-In LEE, Jung-II SEO, Jin-Hak KIM, Chang-Woo LEE, Dong-Yeob KIM and Ho-Joong YOON</i>
PI-25	Policy of Large-scale Landslide Dam Countermeasures Caused by Typhoon No.12 (TALAS) in Kii Mountain System, 2011 <i>Gengo YOSHIMURA and Hiroaki SUGAWARA</i>	PI-36	Rainfall-Induced Landslide Distribution Characteristics Assessment in Southern Taiwan <i>Yung-Sheng CHUE, Yie-Ruey CHEN, Jing-Wen CHEN, Shun-Chieh HSIEH and Kuang-Jung TSAI</i>
PI-26	Sabo Works in Wakayama Prefecture -Evolution through Learning a Lesson from 2011 Disasters- <i>Keio CHITO, Yasuyoshi MKI, Shigenori IMADA, Satoru MORIKAWA, Takehiro SAKAGUCHI and Tsuneshi NISHIOKA</i>	PI-37	Flood Risk in Traditional Building Preservation Districts on the Asano River <i>Xin QIN, Masamitsu FUJIMOTO and Yoshifumi SATOFUKA</i>
PI-27	Small Fish-pond Design for Debris Flow Disaster Measure with Kanako-2D <i>Masato KOBAYAMA, Rossano D.L. MICHEL, Mauricio A. PAIXÃO and Gean P. MICHEL</i>	PI-38	Study of Sediment Yield Characteristics in Cold Dry Area by Satellite Image Armenian Case Study of Sediment Control Using Japanese Method <i>Hiroshi OGAWA, Takahiro ITOH, Hayk BAGHDASARYAN and Cheng QIU</i>
PI-28	Experimental Study of Countermeasures Against the Successive Debris Flow <i>Kim Yong RAE and Takashi YAMADA</i>	PI-39	Effect of Strip-thinning on Stream Temperature Responses in Headwater <i>Dinh Quynh OANH, Takashi GOMI, Chen Wei CHIU and Yuichi ONDA</i>
PI-29	History of Sediment Disasters and Sabo Projects in the Yomase River Basin, Nagano Prefecture, Japan <i>Makoto KITAHARA, Masashi TASHITA, Masaru NISHIZAWA, Masaaki KINOSHITA, Takao YAMAZAKI, Kunihiro HASEGAWA, Junichi KANBARA, Kimio INOUE, Kouji OYA and Kazuhiko NAKANE</i>		

ポスターセッションⅡ 3Fホワイエポスター発表会場 10月2日 14:00~17:55			
1分間スピーチ 10月2日 15:10~15:30 コアタイム 10月2日 16:00~17:00			
座長: Peter WAGNER (Germany)			
番号	発表タイトル/著者名	番号	発表タイトル/著者名
P11-1	Image Analysis Technique Using RGB Value Toward Realization of the Auto-sensing of Regime Change - A Case Study in Kurodakesawa River - <i>Kazuhide IGARASHI, Tasuku MIZUTANI, Teruyoshi TAKAHARA, Shinji IBUKA, Tsuyoshi IKESHIMA and Atsuhiko KINOSHITA</i>	P11-14	Evaluation of Slope Effects on the Debris flow Deposition Length by Using Kanako-2D <i>Maurício A. PAIXÃO, Masato KOBIYAMA, Rossano D.L. MICHEL and Gean P. MICHEL</i>
P11-2	Longitudinal and Continuous Water-sediment Monitoring and Related Monitoring Methods in the Jo-Gan-Ji River <i>Takeshi OSAKA, Seiji ASAI, Takashi ISHII, Ken-ichi TERASAKI, Takahiko NAGAYAMA, Tomohiko FURUYA, Takahiro ITOH, Satoru MATSUDA, Masaharu FUJITA and Takahisa MIZUYAMA</i>	P11-15	Channel Adjustments and Management Strategy of a Gravel-bed Braided river - A study of the Beinan River, Eastern Taiwan - Cheng-Wei KUO, Yung-Chi SHIH and Su-Chin CHEN
P11-3	Soil Characteristics of Two Fluidized Landslides Occurring in the Snow-Covered Period <i>Koji ISHIDA, Akito KANAZAWA and Kiyoteru MARUYAMA</i>	P11-16	Topographic Evolution of Creek Watershed: Cases Study in Putanpunas and Salitung Creeks, Taiwan <i>Yu-Wen SU, Ji-Shang WANG, Kuei-Lin FU and Yih-Chin TAI</i>
P11-4	Measurement of a Landslide Dam in Yubama Area from a Helicopter by SfM Using Oblique Photos <i>Fumiaki AKAZAWA, Yuya TAKAHASHI, Chie KUROIWA, Naoki FUJIMURA and Hideaki MIZUNO</i>	P11-17	Some Considerations on the Erosion and Deposition Rates of Sediment-water Mixture <i>Guan-Cen LAI, Yih-Chin TAI, Yu-Jhen CAI and Chih-Yu KUO</i>
P11-5	Landslide Survey and Scale Estimate by DInSAR, GNSS and Airborne Laser Before Landslide Failure - Landslide Survey of Mt. Inago- <i>Masaki MIZUNO, Chunxiang WANG, Yutaka GONDA, Hideaki MARUI, Daisuke NISHIKAWA, Ikushi HIRATA, Daisuke SANGO and Yasunari MORITA</i>	P11-18	A Time-Series Analysis of Sediment Transport in Tsaoling Landslide using Photogrammetry and SAR Interferometry <i>Rou-Fei CHEN, Ya-Nan DU, Lei ZHANG, Chen-Yang LEE, Hsiao-Yuan YIN, Keng-Ping CHENG and Ching-Weei LIN</i>
P11-6	Estimation of Temporal Change of River Bed Elevation Upstream of a Check Dam During Debris Flow <i>Naoki FUJIMURA, Yuya TAKAHASHI and Hideaki MIZUNO</i>	P11-19	Analysis of Damage Characteristics and Aging Trend of Debris Barriers Using Exterior Condition Assessment <i>Kihwan LEE, Heonho LEE, Ewane B. EWANE, Taro UCHIDA and Wataru SAKURAI</i>
P11-7	Numerical Simulation for Debris Flows Considered the Effect of Phase-shift of Fine Sediment <i>Yuki NISHIGUCHI and Taro UCHIDA</i>	P11-20	Grain Size Distribution of 1926 Volcanic Mudflow at Mt. Tokachi <i>Tomoyuki NANRI, Takashi YAMADA, Mio KASAI, Tomomi MARUTANI, Shigenori TAKASHIMA and Takayuki YAMAHIRO</i>
P11-8	Characteristics of Sediment Discharge in the Tokachi Region, Hokkaido, due to Continuous 4 Typhoons in August, 2016 <i>Nobutomo OSANAI, Mio KASAI, Shin-ichiro HAYASHI, Shin'ya KATSURA and Takahisa FURUICHI</i>	P11-21	Deduction of Important Causal Factors of Deep-Seated Landslide and of Conditions for Its Occurrence or Non-Occurrence through Rough Set <i>Soichi KAIHARA, Yasutaka TANAKA, Atsuhiko KINOSHITA, Hiroaki SUGAWARA, Gengo YOSHIMURA, Wataru SAKURAI and Noriko TADAKUMA</i>
P11-9	Study on Driftwoods that Flow along with Debris Flow and Control by Closed-type Check Dam - Case of Iwaizumi-cho, Iwate Prefecture Sediment-related Disaster Caused by Typhoon No.10 (Lionrock) in 2016 - <i>Chie KUROIWA, Naoki FUJIMURA and Hideaki MIZUNO</i>	P11-22	Possible Case of Deep-seated Catastrophic Landslide in Himekawa River Basin <i>Yuki IGARASHI, Masayuki MIYASE, Shoji IGARASHI, Masahide HASEGAWA and Masakazu NAGANO</i>
P11-10	Hydrogeomorphic Characteristics of Fissures Developed during 2016 Kumamoto Earthquake <i>Yohei ARATA, Takashi GOMI, Roy C. SIDLE, Gonghui WANG, Chen-Wei CHIU and Kenta KOYANAGI</i>	P11-23	Extreme Torrential Flooding at Simbach on June 1st, 2016 - New Insights Through a Detailed Event Analysis <i>Andreas RIMBOECK and Johannes HUEBL</i>
P11-11	Survey of Water Quality and Clogged Groundwater-drainage-pipe Condition of Landslide Mitigation Works <i>Masaru TOUHEI, Yasuo ISHII and Yasumasa TANAKA</i>	P11-24	Trial Shutter Usage of Myo-ju Sabo Dam in Floods Events in July, 2016 <i>Takeshi OSAKA, Seiji ASAI, Takashi ISHII, Ken-ichi TERASAKI, Takahiko NAGAYAMA, Tasuku MIZUTANI, Takahiro ITOH, Satoru MATSUDA, Masaharu FUJITA and Takahisa MIZUYAMA</i>
P11-12	The Relationship between Seismic Characteristics and Large-scale Sediment Movement <i>Hiroaki SUGAWARA, Atsuhiko KINOSHITA, Yasutaka TANAKA, Tsuneshi NISHIOKA, Wataru SAKURAI, Gengo YOSHIMURA, Soichi KAIHARA and Noriko TADAKUMA</i>	P11-25	Measures to Mitigate Eruption Disasters of Mt. Yakedake <i>Tomoya IWADATE, Kiyohiko YANAGAWA, Masayoshi KITAGAWA, Takuya KOBAYASHI and Akihiko IKEDA</i>
P11-13	Flash Flood Model Behavior and Model Calibration of Kali Putih and Nasiri Watershed <i>Adam Pamudji RAHARDJO, Adi Putri Anisa WIDOWATI, Shusuke MIYATA, Djoko LEGONO and Joko SUJONO</i>	P11-26	Study on the Influence of Sabo Dam Type on Sediment and Water Behavior <i>Naoki MATSUMOTO, Taro UCHIDA, Tomoo MATSUBARA, Satoshi NIWA, Ryoichi OHNO, Wataru SAKURAI and Yoshifumi SATOFUKA</i>

P11-27	Location Plan of Sabo Dams Using the Hydraulic Model Experiment : The Upper Makawa River in Japan <i>Naoto NAKAMURA, Takeshi OOSAKA, Takashi ISHII, Kenichi TERASAKI, Kyouko YAMANE, Takashi KONNO, Hitoshi NAGAI, Keisuke YOSHIDA and Yuki NISHIGUCHI</i>	P11-34	Development of the Pinpoint and Real-time Risk Prediction System for Rainfall-induced Sediment Disasters in Hyogo Prefecture <i>Nobuyuki TORII, Wataru NAKAGAWA, Katsunori HARAGUCHI, Satoshi KAGAMIHARA, Hiroaki ISHIDA and Takashi OKIMURA</i>
P11-28	Countermeasure for Landslide along the Pan-American Highway in the Metropolitan Area of El Salvador -Countermeasures for Problem Soils of paleosol overlaying Erodible Glassy Pyroclastic Flows which Occurred in the Fifth-sixth Centuries- <i>Aleyda MONTOYA, Alonso ALFARO, Mónica GUTIÉRREZ, Jaime JUÁREZ and Mikihiro MORI</i>	P11-35	Discussion for the Review of Red Zones <i>Miki CHIBA, Koji KAMEE and Yoshitsugu KIMURA</i>
P11-29	Experimental Consideration for Countermeasures using Multi-drop Structures in Supercritical Flow <i>Hiroaki TSUNAKAWA, Toshiharu ARISAWA, Haruki WATABE, Tsuyoshi IKESHIMA, Yotaro NISHI, Yohei NAGAREKAWA, Satoru MATSUDA, Takashi NAKAYAMA, Takahiro ITOH and Takahisa MIZUYAMA</i>	P11-36	Sediment Disaster Notification System Established for the Reservoirs in Southern Taiwan <i>Tsai-Tsung TSAI, Kuang-Jung TSAI, Chjeng-Lun SHIEH and Yie-Ruey CHEN</i>
P11-30	Utilization of Meteorological Model WRF for New Prediction of Heavy Rain that Can cause Sediment-Related Disasters <i>Toshihide SUGIMOTO, Toshiyuki SAKAI and Hiroshi MAKINO</i>	P11-37	A Quantitative Approach for Classifying Governance unit of Watershed Management and Flood Mitigation Based on a Long-term Landslide Inventory <i>Cheng-Chien LIU, Ming-Hsun KO, Kuei-Lin FU and Shu-Ting CHANG</i>
P11-31	Resident-driven Activity for Improvement of Local Disaster Management Capability <i>Yoichi SAKO, Yu YAMAGUCHI, Shoji IGARASHI, Masakazu NAGANO, Takashi DOI, Shinzo KOBAYASHI, Kihachiro MINAMI and Keiya YOSHINAMI</i>	P11-38	The Features of Tateyama Sabo and their Value <i>Shoetsu KATO, Koji MORITA, Masahiko ICHII, Hitoshi MORITA and Koji TAJIKA</i>
P11-32	A Method for Estimating Maximum Damage Caused by Sediment Disaster by Surveying with Artificial Satellite SAR Imagery <i>Shin-ichiro HAYASHI, Shin'ya KATSURA, Mio KASAI, Nobutomo OSANAI, Takashi YAMADA, Tomomi MARUTANI, Tomoyuki NORO and Joko KAMIYAMA</i>	P11-39	Characteristics of Fine Sediment Transport from Hillslopes in Steep Headwater Catchments <i>Pham Vu MINH, Takashi GOMI, Rose TIRTALISTYANI and Yoshimi UCHIYAMA</i>
P11-33	Proposal for Improving Local Disaster Management Capability for Large-scale Sediment Disaster <i>Mizuki KAWAI, Koji KAMEE, Kimio INOUE, Yoichi SAKO and Miki CHIBA</i>		

ポスターセッションⅢ 3Fホワイトポスター発表会場 10月4日 8:30~12:40			
1分間スピーチ 10月4日 9:40~10:00 コアタイム 10月4日 10:30~11:30			
座長: Shusuke MIYATA (Japan)			
番号	発表タイトル/ 著者名	番号	発表タイトル/ 著者名
P111-1	Initiation of Debris Flow Surges in Ohya Landslide, Central Japan <i>Fumitoshi IMAIZUMI, Takeshi MASUI, Yushi YOKOTA, Haruka TSUNETAKA, Norifumi HOTTA, Yuichi S. HAYAKAWA, Okihiko OHSAKA and Satoshi TSUCHIYA</i>	P111-7	Rainfall Conditions Causing Concentrated Deep-Seated Landslides: Analysis of Rainfall by Typhoon Talas <i>Hiroaki TAKEMOTO, Atsuhiko KINOSHITA, Yasutaka TANAKA, Soichi KAIHARA and Noriko TADAKUMA</i>
P111-2	Estimated of Debris Flow Hydrograph by Coupling between Camera Image and Acceleration by Vibration Meter <i>Hiroaki TSUNAKAWA, Toshiharu ARISAWA, Yotaro NISHI, Yohei NAGAREKAWA, Tsuyoshi IKESHIMA, Takahiro ITOH, Takashi Nakayama, Shinyu KATO, and Takahisa MIZUYAMA</i>	P111-8	Landslide Dams Caused by the M7.8 Kaikoura Earthquake <i>Yosuke YAMAKAWA, Daizo TSUTSUMI, Toru SHIMADA, Brenda ROSSER, Sally DELLOW, Chris MASSEY, Wataru SAKURAI, Syoki TAKAYAMA, Kazuki KITO and Tomomi MARUTANI</i>
P111-3	Experimental Studies for Applicability of a Bedload Sensor with A Communicating Tube <i>Satoru MATSUDA, Takahiro ITOH, Takahiko NAGAYAMA, Daizo TSUTSUMI, Shusuke MIYATA, Masaharu FUJITA and Takahisa MIZUYAMA</i>	P111-9	Susceptible Slopes of Rinfall-induced Landslides in Aso Caldera, Southwest Japan <i>Daisuke HIGAKI, Xueqiang LI and Ikuma HAYASHI</i>
P111-4	Influence of Rainfall Characteristics on the Occurrences of Shallow Landslides in Four Areas <i>Atsuhiko KINOSHITA, Yasutaka TANAKA, Tsuneshi NISHIOKA, Hisamitsu SHINOHARA, Wataru SAKURAI, Yoshinori ARAKI and Toru SHIMADA</i>	P111-10	Evaluating Soil Thickness Using High-Density Electrical Resistivity Prospecting <i>Kohei NOIKE, Atsuhiko KINOSHITA, Yasutaka TANAKA and Katsushi KAWATO</i>
P111-5	Effects of Peak Ground Acceleration on Landslide Susceptibility in Japan <i>Atsushi OKAMOTO, Taro UCHIDA, Masayuki MATSUDA and Toko TAKAYAMA</i>	P111-11	A Trial of Numerical Simulation on Sediment and Water Runoff in Aeyarwady River Basin, Myanmar <i>Kazuki YAMANOI, Myo THANDAR, Hideka MURAKAMI and Masaharu FUJITA</i>
P111-6	Field Investigation for Yielding of Sediment and Logs due to Nashizawa Debris Flow Events in 2014 <i>Hiroaki TSUNAKAWA, Toshiharu ARISAWA, Yotaro NISHI, Yohei NAGAREKAWA, Tsuyoshi IKESHIMA, Takahiro ITOH, Takashi NAKAYAMA, Shinyu KATO and Takahisa MIZUYAMA</i>	P111-12	Critical Rainfall Thresholds for Hydrological Processes Leading to Debris Flow due to Torrent Bed Material Scouring <i>Yasushi SANO, Takashi YAMADA, Tsuyoshi IKESHIMA and Sadakazu MATSUMOTO</i>

PIII-13	Study on Correlation of Water Quality and Large-scale Landslide in Taiwan <i>Chieh-Hsuan Weng, Yuan-Jung Tsai, Chjeng-Lun Shieh and Tomohiro EGUSA</i>	PIII-26	The Effects of Hydraulic Structures on Streams Prone to Bank Erosion in an Intense Flood Event: A Case Study from Eastern Hokkaido <i>Daisuke AOKI, Mio KASAI and Mari IGURA</i>
PIII-14	Temporal Response of NDVI in the Upper Reach of a River to Frequency of Lahar Occurrence after 2010 Eruption of Mt. Merapi <i>Yutaka GONDA, Shusuke MIYATA, Masaharu FUJITA, Djoko LEGONO and Daizo TSUTSUMI</i>	PIII-27	Measures to Reinforce the Left Bank Part of The Shiraiwa Sabo Dam <i>Ryoichi MICHIMATA, Keiji MUKAI and Takeshi OSAKA</i>
PIII-15	Geologic and Topographic Features of slope failure sites in the Aso caldera wall induced by the 2016 Kumamoto earthquake <i>Haruka SAITOU, Shin'ya KATSURA, Ryota UMETANI, Mio KASAI and Tomomi MARUTANI</i>	PIII-28	Procedure of Risk Estimation and Cost-Benefit Analysis of Road Disaster Risk Reduction Investment for both Non-seismic and Seismic Events <i>Mkihiro MORI, Emilio VENTURA, Aleyda MONTOYA, Alonso ALFARO, William GUZMÁN, Juan GARCÍA, Deyman PASTORA, Mónica GUTIÉRREZ, Jaime JUÁREZ and Brenda CALERO</i>
PIII-16	WoodFlow Project: Integrated Management of Large Wood in Rivers <i>Virginia RUIZ-VILLANUEVA, Alexandre BADOUX, Robert M. BOES, Eric GASSER, Dieter RICKENMANN, Christian RICKLI, Isabella SCHALKO, Lukas SCHMOCKER, Massimiliano SCHWARZ, Nicolas STEEB, Markus STOFFEL and Volker WEITBRECHT</i>	PIII-29	Assessment of Debris Flow Locations Using Shallow Landslide Prediction Model Incorporating the Effects of Saturation Overland Flow <i>Masayuki HATA, Naoya OKAZAKI, Yoshinori KOUCHI, Taro UCHIDA and Masahiro KAIBORI</i>
PIII-17	Morphometric Controls for the Characterization of Debris Flow in the Mountainous Region of the State of Rio de Janeiro, Southeast, Brazil <i>Ingrid Ferreira LIMA</i>	PIII-30	Rainfall Induced Slope Failure Risk Assessment in Nobori River Basin, Japan <i>Atsushi MORISHITA, Shigeki KITAZAWA, Harumi UMETA, Atsuhiko KINOSHITA, Teruyoshi TAKAHARA, Kohei NOIKE, Makoto MATSUZAWA, Sei KAGEYAMA, Takeshi KUBO, Naoki MIYATA and Kazutaka AOTO</i>
PIII-18	Investigating the Relationship Between Tree Height and Landslide Occurrence in the Ikawa Catchment, Central Japan <i>Jamie EVANS and Fumitoshi IMAIZUMI</i>	PIII-31	Vertical Evacuation against Debris Flow and Effective Vertical Evacuation Areas <i>Takashi YAMADA, Yuki SUZUKI and Ayumi OKAMOTO</i>
PIII-19	Development of Extraction Technology for Potential Slopes for Deep-seated Landslides, Focusing on Subsurface Resistivity Tomography Obtained by Airborne Electromagnetic Survey <i>Yasutaka TANAKA, Gengo YOSHIMURA, Hiroaki SUGAWARA, Atsuhiko KINOSHITA, Wataru SAKURAI, Yoshito OGAWAUCHI, Osamu YOKOYAMA and Katsushi KAWATO</i>	PIII-32	Detection of Landslide Candidates with InSAR Imagery with Deep Learning <i>Jyoko KAMIYAMA, Tomoyuki NORO, Masayuki SAKAGAMI, Yamato SUZUKI, Kazuo YOSHIKAWA, Syuhei HIKOSAKA and Ikushi HIRATA</i>
PIII-20	Experimental Study of the Use of Stakes to Prevent Driftwood and Natural Debris from Blocking Bridges <i>Norio HARADA, Kana NAKATANI, Yoshifumi SATOFUKA and Takahisa MIZUYAMA</i>	PIII-33	Project for Strengthening National Strategy of Integrated Natural Disaster Risk Management -Technical Cooperation between Brazil and Japan - <i>Yuri Rafael Della GIUSTINA and Takao YAMAKOSHI</i>
PIII-21	Study on Risk Assessment of Large-scale Landslide Disaster <i>Yuan-Jung TSAI, Teng-Chieh HSU, Chjeng-Lun SHIEH and Jen-Yuen CHENG</i>	PIII-34	Seasonal Patterns of Evapotranspiration in a Forested Headwater Catchment Affected by 50% Strip Thinning: Application of Short-time Period Water Budget Method <i>Chen-Wei CHIU, Takashi GOMI, Katsushige SHIRAKI, Marino HIRAOKA and Yuichi Onda</i>
PIII-22	Difference in Deterioration Rates Based on Location in Wooden Crib Dams <i>Quoc D. DANG, Yoshiharu ISHIKAWA and Marie OGAWA</i>	PIII-35	Sediment Control Works to Prevent Deep-seated Slope Failure in the Tachiyazawa River Basin <i>Toshikazu KUBOTA, Teteo MITSUNAGA, Hirokazu YAKURA and Satoko KASAHARA</i>
PIII-23	A Study of the Effects of Sabo Dams Against Deep-seated Catastrophic Landslides <i>Masaaki MANTOKU, Hideki TANAKA, Tetsuya KUREBAYASI, Kazuya KOGURE, Takeshi KADO and Yuji KANEKO</i>	PIII-36	Characteristics Sediment Disaster in the Tottabetsu River, Hokkaido Prefecture, Caused by the Heavy Rainfall in August 2016 <i>Toshihiko YOSHIMURA, Takashi ISHII and Masahide MATSUZAWA</i>
PIII-24	A Quantitative Approach to the Environmental Impact Assessment with Hydraulic Model Experiments <i>Takeshi OSAKA, Takashi ISHII, Yosuke MURAMOTO, Soji SUZUKI and Seiji SAWAKI</i>	PIII-37	Field Trip to Observe the SABO Works of the Tateyama Caldera <i>Takao HONDA, Kotaro FUKUI, Hajime IIDA, Toshiaki SHIRAIISHI and Hiromi MOTOHARA</i>
PIII-25	Examination of Advanced Technical Measures for Landslide Dams Formed by Deep-Seated Landslides <i>Takasue HAYASHI, Satoshi TAKAGAWA, Ryosuke HIRASAWA, Yurika OSHIMA, Mutsumi MURAKAMI, Go YANAGISAKI, Naoyuki KISHIKAMI, Satoshi HAYAMI, Wataru SAKURAI and Taro UCHIDA</i>		